

特集1

第34回 大阪大学大学院基礎工学研究科 産学交流会

「これからのロボット技術」 ～若手研究者からのシステム化技術の提案～

平成30年 11月28日(水)

主催 大阪商工会議所 大阪大学大学院基礎工学研究科 一般社団法人 生産技術振興協会

開会のご挨拶



一般社団法人 生産技術振興協会 理事・大阪商工会議所 議員
生駒 京子 氏

生産技術振興協会の理事ならびに大阪商工会議所の議員を務めています生駒でございます。

本交流会にご参加の皆様には厚くお礼申し上げますとともに、開催のご準備をいただきました関係各位に対し、深く感謝申し上げますと存じます。

さて、産学連携による研究開発活動への期待は国際的にも日々増加の一途です。先端科学に裏付けられた新技術への魅力はもちろんですが、その先にある新産業の創成と人材育成などに大きな期待が集まっているからだと思えます。

新産業を創成していくためには、地域を支える中堅・中小企業の技術革新が必要です。国内市場だけでなく、世界市場も相手に、独自の技術や製品の開発を推し進めることにより、付加価値を高め競争力を向上させていかなければなりません。

本商工会議所ではこのような視点から、今年で2年目を迎える中期事業計画「たんと繁盛大阪アクシ

ョン」において、大阪・関西を「アジアのイノベーション・ハブ」にするという目標を掲げています。中堅・中小企業による成長分野への参入を支援することを主要テーマの1つとし、オープンイノベーションから社会実証・実装までを包括支援することにより、あらゆる産業分野での新ビジネスの創出に取り組んでいます。

具体的にはこうした取り組みの一環として、中堅・中小企業によるイノベーションを成功に導くため、大学や公設試験研究機関の技術シーズや研究成果を企業に紹介するという本交流会のような「研究成果発表会」を実施し、ものづくり企業の技術力強化や新製品開発などの支援を行っています。

次に、ユーザーの多様な課題に応えるため、自前主義にとらわれず、製品やサービスを複合的に組み合わせ、効率的、スピーディーに最適な価値を提案する手法である「オープンイノベーション」を推進し

ております。大阪商工会議所が運営する「MoTT^{もつと}_{おおさか} OSAKA オープンイノベーションフォーラム」では、大企業が課題を提供する形で、中堅・中小企業とのビジネスマッチングの機会を創出しています。

さらに今年4月には、大阪の中心・梅田にある大阪工業大学梅田キャンパスに、課題解決を通じた新たなビジネスの創出を支援すべく、大阪工業大学と共同で、会員制オープンイノベーション拠点「Xport (クロスポート)」を設立しました。大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生といった多様な主体が、異業種交流を通して実社会の課題に挑み、実利を生むビジネスを創出できるよう、課題解決、新事業創出促進マッチング支援、産学連携による人材育成といった様々なプログラムを実施しています。

また、大阪大学大学院基礎工学研究科におかれても、個々の研究領域の枠を越えて、異分野同士の技術を組み合わせる「学際的融合研究」に注力しておられます。こうした融合研究からイノベーションを生み出すにあたり、ロボット関連の要素技術について最先端の研究に取り組まれている大阪大学大学院基礎工学研究科への期待は大きいものがありますので、

企業との共同開発をより積極的に果たしていただきたいと思っております。

最後に、今年で34回目となる本交流会では「これからのロボット技術」を全体テーマに掲げ、ロボットに代表されるような知能的システムを設計・製作・運用するためのシステム化技術に関する講演を行っていただきます。大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻システム科学領域の細田^{ほそだ} 耕^{こう}教授より、センサ、アクチュエータ並びにこれらを利用した制御技術の社会実装化に重要となる、知能的システムの技術とその応用についてご講演いただきます。続いて、同領域所属の5名の若手研究者から、知能的システムの技術的ノウハウや適用事例結果などを紹介し、知能システム設計の可能性を分かりやすく説明いたします。本交流会の開催を通じて、技術シーズの社会実装が実現されるよう支援して参りたいと思っております。

本日のプログラムを通じて、産学の技術交流がさらに深まり、拡大することを願ひまして、私からのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

